

全国に湧き上る 選別的な不当処分反対の声

日新 勤労千葉

80.5.30 NO442

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
電話二二五八一九(公衆電話三三二七二〇七)

当局への『処分哀願』のみならず、今度は警察署にまで『弾圧要請』で夕刊「本部」革マルを弾劾する

不当処分策動粉碎、五月総決起・総行動の闘いの高揚は、五・二五の大爆発を実現し、今や、ますます大きく強く六月決起へとつき進んでいる。こうした勤労千葉の闘いの前進に恐怖した「本部」反動分子は、なんと驚くべきことに今度は、「四・一五」を理由とした国家権力II船橋警察署からの任意出頭要請に積極的に対応し、勤労千葉への刑事弾圧を引き出さんと、デッチ上げをもって「権力へのタレコミ」をするにまで至っている。何という反労働者性であろうか！ 彼らの権力・当局との反動的一体化の本質をこれほど赤裸々に示す事実はない。かかる「本部」反動分子の卑劣かつ極反動行為を弾劾し、五・三一不当処分通告粉碎へ総決起しよう。

27日反対同盟・支援共闘、29日社会党が千鉄局へ抗議



「不当処分策動を即時中止せよ！」……怒りをこめて申し入れ書をつきつける 浅田・北原・熱田・鈴木・長谷川・郡司・長谷川の各氏。

国鉄当局・「本部」反動分子の一体となった勤労千葉への不当処分策動が、あまりにも正義であるがゆえに、いま全国に反処分・勤労千葉支援の声が湧き上がっている。五・二五三

の即時中止を求める「申し入れ書」を手渡し怒りをもって厳重に抗議した。

社会党は、市川本副委員長、山崎労働局長、中江組織局長が出席し、同じく藤田、進士両部長に対し「処分策動を中止」せよと強く申し入れたのである。5・31処分通告を許すな！

里塚空港粉碎全国総決起集会で、「不当処分策動弾劾特別決議」を採択した三里塚芝山連合空港反対同盟は、五月二十七日、ジェット闘争支援共闘会議とともに千葉鉄局抗議闘争に決起した。そしてつづき五月二十九日、社会党千葉県本部も千葉鉄局に抗議の申し入れを行った。

全組合員の皆さん。「四・一五」を口実とした当局・「本部」反動分子の一体となった不当処分策動は、こうした社会的に大きな波紋をなげかけている。われわれはこうした選別的な不当処分反対の声をより全国へ広く深く拡大しよう。



「マル生処分の時よりも、はるかに汚い、選別的な弾圧組織介入だ！」……社会党抗議団も事態を重視、厳重に抗議を申し入れた。(右から、社会党=中江、市川、山崎の各氏と千鉄局藤田総務)



5/27 千葉駅前

反対同盟、支援共闘会議の抗議闘争は、十四時より千葉鉄局への抗議交渉と、千葉駅頭での抗議の街頭宣伝行動として行われた。抗議交渉には、反対同盟から北原事務局長、熱田副行動隊長、鈴木会計役員、長谷川婦人行動隊長、郡司婦人行動副隊長、支援共闘会議浅田世話人、長谷川杉並区議が出席し、千葉鉄藤田総務、進士運輸部長に対し、処分策動

不当処分に反対する。各界からの怒りの声

類例のない卑劣さ
革マル派を中心とする四・一五スト破り襲撃と勤労「本部」の国鉄当局に対する勤労千葉への懲戒処分へのけしかけ策動は、その卑劣さにおいて労働運動史上例を見ないものです。処分強行は、当局自ら墓穴を掘ることになるでしょう。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！